

関西国際空港の強化に向けた要望書

令和6年9月

関西国際空港全体構想促進協議会

関西国際空港は、現在、日本人旅客の回復は遅れているものの、旺盛なインバウンド需要に牽引され、外国人旅客数が2019年実績を上回るなど、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況から脱却し、漸く成長軌道に戻りつつある。

こうした中、来年4月には世界150を超える国・地域が参加する2025年大阪・関西万博が開幕する。さらには、中長期的な観点から、2027年のワールドマスターズゲームズ関西や、その先のIR開業など、国内外から大阪・関西を訪れる観光客が大幅に増加する。この絶好の機会を逃すことなく、関空が万全の受入体制を整えることは、万博の成功はもとより、その後の大阪・関西の経済成長を支える極めて重要な取組みである。

このため、地元関西では、年間発着回数30万回への容量拡張を実現するために必要な新飛行経路案について、有識者委員会による環境検証を行った上で、地域との対話を積み重ね、今年7月の関西3空港懇談会において、実に26年ぶりに導入を合意するに至った。併せて、関西エアポート社においても、万博開幕前のグランドオープンに向け、第1ターミナルの大規模改修を着実に進めているところである。

関空の容量拡張にあたっては、これまで示されてきた地域住民や自治体の思いを真摯に受け止め、環境監視体制の強化や空港と共に発展する地域づくりをめざすとともに、次のさらなる成長に向け、関空の需要拡大に関西が一丸となって取り組んでいく所存である。

国におかれても、万博の成功とその後の成長に向けた地元関西の覚悟と熱意を十分に受け止めていただき、下記のとおり、必要な施策や措置を講じられることを要望する。

記

1 2025年大阪・関西万博の開催に向けた円滑かつ快適な受入体制の整備

万博の開催に伴い、国内外からの来訪者の増加が見込まれることから、関空が関西・我が国の玄関口としての役割を確実に果たすため、円滑かつ快適な受入体制の整備が必要である。

そのため、グランドハンドリングや保安検査、給油などの空港内事業者において、空港需要に応じた人材確保が図られるよう、引き続き、必要な支援をお願いしたい。

また、旅客手続きが円滑に進むよう、スマートレーンなど最新機器の整備に対する財政支援や、来春に導入が予定されている、税関と入国審査の手続きをワンストップで行える共同キオスクの円滑な運用に向け、必要な措置を講じられたい。

さらに、万博会期中に世界各国・地域のナショナルデー等が開催されることから、要人・賓客の円滑かつ安全な誘導が図られるよう、万全な受入体制を早期に構築されたい。

併せて、今後の航空需要の高まりに備え、航空燃料の安定供給ができるよう必要な措置を講じられたい。

2 2025年大阪・関西万博とその後の成長を見据えた関空の容量拡張等

関空の容量拡張の実現は、万博の成功を支えるとともに、観光立国の推進をはじめ、今後の日本経済のさらなる成長にとって、不可欠な取組みであり、国、地元が各々の役割を確実に果たしつつ、一体となって進めていく必要がある。

国におかれては、新飛行経路の導入に当たり、安全性の確保を前提に、深夜・早朝時間帯は、関空への出入りを明石海峡及び紀淡海峡に限定させる経路の使用や、陸域上空の飛行高度が上がるよう運用に努めることなど、地元の要請について、確実に履行されたい。

また、万博の開催や関空の容量拡張に伴い、インバウンドの増加が見込まれることから、空港と近隣地域が共生し、ともに発展できるよう、誘客促進などの近隣地域が行う観光振興等の取組みに対し、必要な支援をお願いしたい。

3 関空アクセスの強化

関空アクセスの利便性や速達性の向上を図るため、都心部を結ぶなにわ筋線の整備を支援するとともに、淀川左岸線（2期）・延伸部及び大阪湾岸道路西伸部、名神湾岸連絡線など、関空と関西各地を結ぶ高速道路網が早期に整備されるよう、着実に推進されたい。

4 関空の脱炭素化の推進

2050年のカーボンニュートラル実現に向け、関空では、昨年度、「関西国際空港脱炭素化推進計画」を策定し、温室効果ガス削減に向けた取組みを進めていることから、本計画に基づく太陽光発電設備の増設や空港車両のEV導入などに対し、引き続き、財政支援をお願いしたい。

令和6年9月12日

関西国際空港全体構想促進協議会

会 長	(公社)関西経済連合会会長	松 本 正 義
副会長	大 阪 府 知 事	吉 村 洋 文
〃	兵 庫 県 知 事	齋 藤 元 彦
〃	和 歌 山 県 知 事	岸 本 周 平
〃	大 阪 市 長	横 山 英 幸
〃	堺 市 長	永 藤 英 機
〃	神 戸 市 長	久 元 喜 造
〃	大阪商工会議所会頭	鳥 井 信 吾